

さたけ散歩

第4号

◇次号予告◇

次回のテーマは「鼠小僧の墓石を削って金運アップ!? 両国」

東京都墨田区両国を特集します。



金八先生の歩いた道 北千住



通称: 金八通り (東京都足立区)



昭和54年から平成23年まで約32年間にわたりTBS系列で放送されたTVドラマ『3年B組金八先生』で登場する荒川の土手は東京都足立区にあります(写真上、左:地図①)。第4シリーズまでのタイトルバックでは、お馴染みの“ゴミ出しのおばさん”に挨拶される金八先生(武田鉄矢さんが演じた主人公の坂本金八)が歩いた道として有名な通称「金八通り」も土手から見る事が出来ます(写真左上)。



幼稚園児や柔道部、ボート部の生徒、ジョギングする外国人女性が金八先生に挨拶する場面は32年間にわたるシリーズの定番でした。土手を歩いていると、海援隊の「贈る言葉」や「人として」などの名曲が浮かんできます。



「足立区立千寿桜堤中学校」
ドラマで登場する“桜中学”に因み、校名に“桜”の文字が入れられました。



江戸時代に整備された五街道の一つ・日光道中(日光街道)は日本橋を起点としていますが、その最初の宿場が千住(せんじゅ)でした。旧街道には都内で唯一とされる手書きの絵馬屋「吉田



吉田屋の向かいにある「横山家住宅(写真上、右上)」は屋号を松屋といい、漉返紙(すきがえしがみ)の間屋として知られています。漉返紙とは現代におけるリサイクル用紙のことを意味します。広い間口と2階の格子窓に伝馬屋敷としての趣が感じられます。



森鷗外の父・森静雄が開業した橋井堂森医院。鷗外はここから人力車に乗り、「軍医」として陸軍病院に通勤していたのです。



足立区都税事務所の一角にある「森鷗外旧居 橋井堂森医院跡(もりおうがいきゅうきょきつせいどうもりいんあと:写真上、左:地図③)」。文豪・森鷗外はドイツ留学までの4年間にこの地で過ごしました。



北千住を歩いて

吉田家と横山家住宅の近くには、名物「槍かけだんご」で有名な「かどや」があります(写真上)。江戸時代中期、水戸藩主・徳川光圀(とくがわみつくに:水戸黄門)が江戸に向かう途中、近くの清亮寺(せいりやうじ)で休息され、その折に槍を立てかけた松が後に「槍かけの松」として名所になりました。その松の近くに茶店があったことから、「槍かけ団子」と命名されたと言われています。



■アクセス(金八通り)
東武鉄道伊勢崎線堀切駅下車徒歩7分